

大会規則

- | | |
|----------------|---|
| 1 規則 | 本大会は、2026年度公認野球規則による外、大会規則を適用する。 |
| 2 使用球場 | 札幌市麻生球場・太陽グループ少年野球場 |
| 3 使用球 | マルエスJ号 |
| 4 試合方法 | トーナメントイニング戦 |
| 5 試合回数 | 試合は7イニングとし、4イニングをもって試合成立とする。
1時間10分を超えて、新しいイニングに入らない。(決勝戦も同様とする)
※同点の場合は、大会特別ルールを適用して勝敗を決する。 |
| 6 コールドゲーム | 4イニング終了後、7点差とする。 |
| 7 投球数制限 | 投球数制限は採用ないが、申告故意四球は認める。 |
| 8 指名打者・ピッチクロック | 指名打者ルール、投手の投球間隔(ピッチクロック)規定は採用しない。 |
| 9 集合時間 | 試合開始予定時刻の30分前までには、球場に集合のこと。
試合開始予定時刻になっても試合のできる状態にない場合は、そのチームを棄権とみなす。 |
| 10 ベンチ | プレイヤーズベンチは組み合わせ番号の若い方が1塁側とする。 |
| 11 その他 | ① 監督、コーチは選手と同一のユニフォームを着用(スパイクは除く)すること。
ユニフォームのロングパンツの着用は認めない。責任者・スコアラーの服装はベンチに入るのに相応しい服装及びチームの帽子を着用すること。
② スtocking・カラーソックスについては、指導者と選手は統一すること。
③ 監督、コーチのベースコーチは認めない。
④ 背番号は0から99までとし、監督30、コーチ29・28、主将は10とし、ベンチ内は登録選手20名以内、監督、コーチ、責任者、スコアラーの5名のみとする。
(監督と責任者が同一の場合は4名となる)
監督、主将が欠場するときは代理を認めるが、この場合は試合開始前に代理者の氏名、背番号を大会本部又は、球審に申し出なければならない。
⑤ 球場内での素振り以外、ボールを使ったバッティング練習は認めない。
球場内でのノックは、監督またはコーチが芝生以外のところで行うこと。
⑥ 攻守交代は全力疾走すること。実行しない場合は審判員から注意を与えることができる。
⑦ 次の試合のチームは、前の試合が3回を終了後にメンバー表4部を大会本部に提出して攻守を決める。選手名はフルネームで記入し、必ずフリガナをつけ、女子選手には○印をつけること。なお、責任者・監督・コーチ・スコアラー並びにメンバー表に記載された選手でも、試合開始時刻にいないければ、その試合のベンチ入りを認めない。
又、試合の途中での出入りは緊急を要する以外は認めない。
⑧ 抗議は、監督と当該選手のみとする。
⑨ メガホンの使用は、監督のみ認める。
⑩ 捕手は、マスク・プロテクター・レガースを必ず使用すること。
⑪ 危険防止のため、打者・走者・捕手・ベースコーチ・ボールボーイ・バットボーイは必ずヘルメットを着用すること。
⑫ バットは、公認のもの(J・S・B・B)を使用すること。又、変形したものは使用を禁止する。
一般用(中学生～大人)バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。なお、一般用バットであっても、上記以外の木製・金属製・カーボン製・複合(金属／カーボン)バットについては、使用制限を行わない。
⑬ 金属製スパイクは使用を認めない。
⑭ 鉄パイプ・リング等の危険があると思われるものを球場内に持ち込まないこと。
⑮ 次打者は必ず次打者席へ低い姿勢で入ること。
⑯ 試合中、選手がスパイクの紐を結び直すための「タイム」の要求は禁止する。
⑰ 本塁打を打った選手に握手を求めためグラウンド内に出ることは禁止する。
⑱ 試合中に選手が塁上に腰を下ろすことは禁止する。
⑲ 球場内での食べ物、ガム等は禁止する。
⑳ コーチャーズボックス内及び、その付近に用具を置くことを禁止する。
㉑ ファールボールの収拾については、ベンチ側の選手は協力し、球審に手入れたボールを手渡すものとする。 |

《大会特別ルール》

タイブレークは、1アウト満塁、継続打順で1イニングを行い、勝敗がつかない場合はもう1イニングを行う。

2イニングで勝敗が付かない場合は、両チーム監督立ち合いのもと、選手9名による抽選で決着する。

前のイニングで、4番打者で終了していれば、2番打者が3塁走者、3番打者が2塁走者、4番打者が1塁走者、5番打者が打者となる。この場合1アウト満塁で始める。但し、選手の交代は認める。

《遵守事項》

本大会は、野球を通じた子供たちの教育の一環であることを深く認識し、チーム責任者・監督は応援するチーム内の保護者に次の事項を周知徹底しておき、責任を持つこと。

- ① 相手チームの選手に対する個人攻撃は絶対しないこと。投手の投球時に歓声を上げたりすることは禁止する。
歌を唄う、音楽を流す等の行為 および 鐘・太鼓等の鳴り物の使用は禁止する。
又、応援は節度をもって行うこと。（使用球場すべて）
 - ② 球場内に営利的・宣伝的と見られるものは持ち込みを禁止する。
 - ③ 球場周辺の美化清掃に協力すること。（札幌市麻生球場敷地内・周辺エリアは、全面禁煙です。）
 - ④ 各球場バックネット周辺について、ビデオ等の撮影は認めるが、応援・選手への指示等の行為は禁止する。
又、外野フェンス外側からの写真、ビデオ撮影は禁止とする。
 - ⑤ 球場での横断幕等の取り付けについては、ネット等の外側（グラウンド内は禁止）に取り付けること。
 - ⑥ 試合を終えた両チームは、グラウンド整備をして退場すること。
 - ⑦ 試合中にグラウンド外に出ることを禁止する。但し、体調不良等緊急止むを得ない場合は認める。
又、ベンチ内での携帯電話の使用は禁止する。
 - ⑧ 選手・指導者のサングラスの使用を認める。（ミラータイプは禁止。帽子の上に乗せることは禁止とする）。
但し、サングラスを使用する者がいる場合は、大会本部又は、球審に
試合前のメンバー表交換の際に申し出ること。
 - ⑨ アームスリーブの着用を認める。
色はアンダーシャツと同色とし、野手は片袖のみの着用もできるが、投手は必ず両袖に着用すること。
 - ⑩ プログラムに[掲載]されていても、メンバー表に[記載]されていなければ出場できない。
 - ⑪ 選手の交代の申告がある場合は、球審は控え審判及び大会本部に選手の確認をすること。
 - ⑫ 球場内へペットを持ち込むことを禁止する。
 - ⑬ 車両の駐車は所定の場所とし、警備員の指示に従うこと。
 - ⑭ 駐車中の車両は、エンジンを停止し周りの人、民家等に迷惑をかけないこと。
 - ⑮ 太陽A球場レフト側奥の駐車場は審判員専用のため、審判員以外の方の使用は禁止する。
- #### 《熱中症対策》
- ① 熱中症対策要員として、各チーム2名の保護者のベンチ入りを認める。
熱中症対策要員の保護者は、専用ビブス(大会役員から貸与) および 帽子を必ず着用すること。
また、チーム帽以外の帽子の着用を認める。
試合中、熱中症対策要員の保護者がベンチ内で指導・応援することは禁止する。
 - ② 試合時間30～40分経過を目途に攻守交替のタイミングで給水タイムを5分間設ける場合がある。
また、1イニングの攻撃が15分以上続いた場合、給水タイムを設ける場合がある。
給水タイムを設ける判断は、大会役員が試合時間、天候、熱中症指数などを確認して行うものとする。

※ 大会規則については、監督が責任をもって

選手・保護者会に周知徹底を図ること！